

NTT
Do Co) Mo

Business & Communication

33
トッポの原点

小松電機産業株式会社 社長

小松 昭夫



おもしろ、おかしく
楽しく、ゆかいに

宝は、脚下にあり

「天馬、空を往く」というでしよう？ エンジニアが、そうした自由さ、奔放さをもつて、夢を具現化するに足る会社が、この辺に無かった。だから自分で創ったんです(笑)。

「門番(シートシャッター)」と「やくも水神(排水処理システム)」という二つが当初のヒット商品ですが、その開発に至る着眼は、まさに脚下にあり。山陰の寒さと、中海、宍道湖という自然環境に対する関心が、本当に自然に、製品化へのアイデアに繋がっていったと思います。もっとも、その着眼も、自分の中に思いがあつてのこと。「思いがないと、気づかずに見過ごして、宝の傍を通り過ぎてしまうんです(笑)。

ゆかいでありたい

若いころは、稲作機械の開発をやりました。稲ですから、欧米の技術を導入するわけにもいかなくて、自分でやるしかない(笑)。要するに、テーマが大きくても小さくても始める時は結局一人なんです。目標を絵に描いて、それを数字に置き換え、計画をたてて組織を創っていく。それしかない。「役割分担」はそのあとですね。「志」があると、人は集ま

ります。ただ、共有するプロセスが楽しくない、なかなか長続きしない(笑)。

私はね、「楽しむ」より更に、みんなで「ゆかい」でありたいな。使命感があると、すべてがゆかいだと思えます。おもしろ、おかしく、楽しく、ゆかいに、自分自身も、周りの皆さんも、そういう人生でありたい(笑)。

「志」の旗を立てる

昭和六十年の八月、「門番」の完成を新聞発表した時のことです。新聞を手に、大手重機メーカーの社員が飛んできた。「西独技術の素晴らしい。減速機があります。使えませんか？」こんな田舎の(笑)八雲村における出会いが、さらに優れた「門番」に繋がったんです。

情報は、発信するところに集まってきます。これからは、地方も都会も無い。「志」の旗を立てた人が在る、そこがステージ。誰かが「旗をたてたぞ」と発信しさえすれば、共鳴する仲間と、もっと多くの情報と、どんどん集まってくるんです。そんな時代です。



インタビュート文
池本良子

岡ざわやネットワーク代表 元テレビ新潟副キャスター、ジャーナリスト、インビジュアルにて活躍中。広島県立大学は「自己表現の講座を担当。若者文化への造詣が深い。

010 も仲間入り

今月から、携帯電話契約者の急増にもない「010」で始まる電話番号が、これまでの「090」「060」に加え登場しました。



PP96-LV1 Doro PP96-LV1 Feature PP96-LV1 Network PP96-LV1 Partner

お申し込み・お問い合わせは
(一般加入電話) ☎0120-177-360 (ドコモの携帯電話)(市外局番なし) 151番
(からの場合) (からの場合)

NTT DoCoMo 中国 松江支店
〒690 松江市母衣町55-4 松江商工会議所ビル1F

●企業紹介.....
小松電機産業。1973年設立のベンチャー企業。制御機器の開発に定評がある。'86年INS研究所から、郷土の偉人「真藤彌兵衛」を出版。著書には「真藤彌兵衛」を出版予定。また、小松社長の実業へのメッセージ「母なる中海(森清湖)がダイヤモンド社より出版された。本社一冊販売所八雲郡八雲村。